

戦と火縄銃

平成30年

2月10日(土)～4月15日(日)

9時～17時(入館は16時30分まで)

三河武士のやかた家康館 特別展示室・1階展示室

— 展示協力者による説明会 —

2月17日(土)・3月17日(土)

両日共に13:30～、45分程度

愛知県古銃研究会の会員による展示物の説明会を開催します。



火縄銃は戦国時代の天文12年(1543)に種子島に伝来したと伝えられています。その後、次第に国産化が進み、各地へと広がりを見せました。

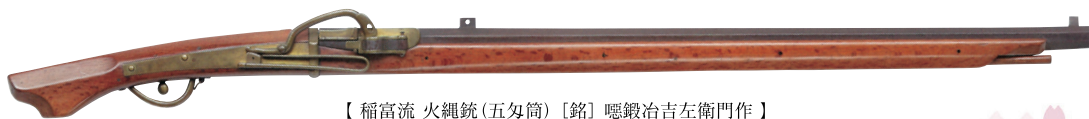
全国へと普及した火縄銃は、多くの合戦で使用されるようになり、戦術に大きな変化を与えました。

現存する多くの火縄銃は、江戸時代中期以降に製作されたもので、使用目的や武芸の流派、また使用する弾の大きさ、カラクリの形式などによって多くの種類が存在します。

今回の展覧会では、愛知県古銃研究会の皆様や個人のコレクターの方が所有している、数多くの種類の火縄銃を中心に展示いたします。また、火縄銃本体だけでなくそれに付随する小道具や、幕末に輸入された小銃なども紹介していきます。多くの方々に火縄銃の用途や構造、軍用化され発達した武士の砲術などを知っていただく機会になればと思います。



【火縄銃(薩摩筒:一匁五分筒)】



【稲富流 火縄銃(五匁筒) [銘] 噫鍛冶吉左衛門作】



【荻野流 火縄銃(九匁筒) [銘] 國友亦三郎重當】



【百匁玉大筒 [銘] 二重巻張鑑谷与三右衛門作】



【井上流 五十五匁玉大筒 [銘] 江島國友住甚兵衛有政作】

三河武士のやかた家康館

交通案内

JR岡崎駅から名鉄バス康生町方面行に乗車「殿橋」下車、徒歩5分
名鉄東岡崎駅から名鉄バス康生町方面行に乗車「殿橋」下車、徒歩5分
徒歩の場合は、名鉄東岡崎駅から約15分
愛知環状鉄道中間岡崎駅下車、徒歩10分
車の場合は、東名高速道路岡崎インターより名古屋方面へ10分3km国道1号線沿い

駐車場案内《利用時間》24時間

乗用車:[7:00～22:00]100円/30分 [22:00～翌日7:00]50円/30分
上限1,500円

〒444-0052 愛知県岡崎市康生町561-1 岡崎公園内
TEL.0564-24-2204

入場料金

大人(中学生以上)/360円 小人(5歳以上)/200円

市内に住所を有する中学生以下の方又は65歳以上の方及び、身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳、Withカードのいずれかを所持する方は無料。
※住所及び生年月日の確認できるもの(運転免許証及び健康保険証など)をご提示ください。Webページ限定割引など各種割引あり。

バス:[7:00～22:00]2,000円/1回 [22:00～翌日7:00]1,000円/1回
上限3,000円

【主催】一般社団法人岡崎パブリックサービス 【協力】愛知県古銃研究会 岡崎美刀会

